

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-91612

(43)公開日 平成6年(1994)4月5日

(51)Int.Cl.⁵
B 27 M 3/00
B 32 B 21/13
E 04 F 13/10

識別記号 庁内整理番号
E 2101-2B
A 9127-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号 特願平4-243906

(22)出願日 平成4年(1992)9月14日

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者 林 守男

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72)発明者 川畑 成人

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72)発明者 金井 英樹

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

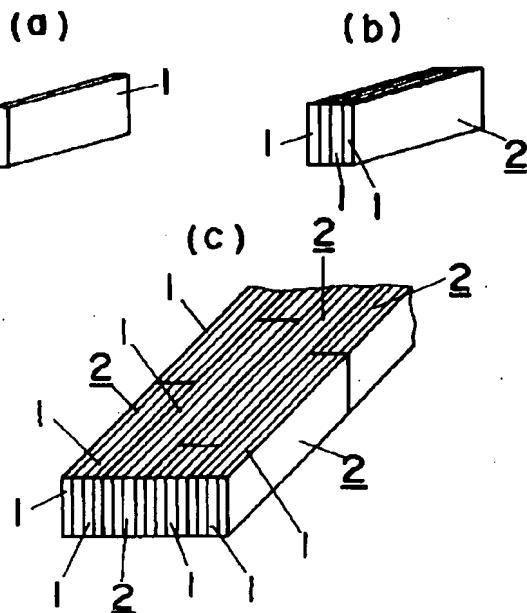
(74)代理人 弁理士 石田 長七 (外2名)

(54)【発明の名称】 建築材

(57)【要約】

【目的】 板目材を使用しても柾目調のデザインにし、柾目調に統一して全体的に落ちついた高級感を出す。

【構成】 複数枚の厚みの薄い板木材1を厚み方向に重ねると共に接着剤にて接着して木材ブロック2を形成する。この木材ブロック2を少なくとも上記の板木材1の厚み方向に複数個並設して各々を接着剤にて接着結合する。板木材1として板目材を使用しても接着した各板木材1の境界線で柾目材の木目を表現して柾目調のデザインの建築材を形成することができる。



1 板木材

2 木材ブロック

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】複数枚の厚みの薄い板木材を厚み方向に重ねると共に接着剤にて接着して木材ブロックを形成し、この木材ブロックを少なくとも上記の板木材の厚み方向に複数個並設して各々を接着剤にて接着結合して成る建築材。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、建築物の壁や天井や床などの表層材として使用される木製の建築材に関するものである。

【0002】

【従来の技術】建築物の壁や天井や床などの表層材に使用される木製の建築材には、板目材と柾目材とがあり、これら二種類の木目板が混合して使用されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし上記のように二種類の木目板を混合して使用した場合、外観にまとまりがなく高級感を出すことができなかった。本発明は上記の点に鑑みてなされたものであり、板目材を使用しても柾目調のデザインとなり、柾目調に統一して全体的に落ちつい高級感を出すことのできる建築材を提供することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明に係る建築材は、複数枚の厚みの薄い板木材1を厚み方向に重ねると共に接着剤にて接着して木材ブロック2を形成し、この木材ブロック2を少なくとも上記の板木材1の厚み方向に複数個並設して各々を接着剤にて接着結合して成ることを特徴とするものである。

【0005】

【作用】複数枚の厚みの薄い板木材1を厚み方向に重ねると共に接着剤にて接着して木材ブロック2を形成し、この木材ブロック2を少なくとも上記の板木材1の厚み方向に複数個並設して各々を接着剤にて接着結合したので、板木材1として板目材を使用しても接着した各板木材1の境界線で柾目材の木目を表現して柾目調のデザインの建築材を形成することができる。

【0006】

【実施例】以下本発明を実施例によって詳述する。板木材1は、図1(a)に示すように厚みの薄い木板で形成してあり、厚みは10mm~20mm程度のものが望ま

2

しく、幅と長さは一定のものを用いる。また板目材、柾目材のどちらの木目のものでもよく、この二種類の木目の板を混合して用いてもよい。

【0007】この板木材1を厚み方向に複数枚重ねて接着剤にて接着し、図1(b)に示すような木材ブロック2を形成する。この木材ブロック2は、その長手方向の長さが厚み方向の幅よりも数倍の長さにしてあり、平面形状が矩形に形成されている。そして図1(c)に示すようにこの木材ブロック2を少なくとも板木材1の厚みの方向に複数個並設して各々を接着剤にて接着結合する。すなわち一つの木材ブロック2の両側面に他の木材ブロック2の側面を並設して接着剤で接着すると共にさらに木材ブロック2の両端部には他の木材ブロック2の端部を並設して接着剤で接着するものである。このとき側面同士で隣合う各木材ブロック2は長手方向に相互にずらせて接着するようにしてある。このように木材ブロック2単体を複数個接着することによって厚さが一定の建築材が形成される。

【0008】上記に示すように複数枚の板木材1で形成された木材ブロック2は各板木材1の境界線がほぼ直線に形成されるために柾目材のような木目を持つようになる。さらにこの柾目調の木材ブロック2を上記の方法で接着し結合することにより建築材が柾目調の木目を持つよう形成される。

【0009】

【発明の効果】上記のように本発明は、複数枚の厚みの薄い板木材を厚み方向に重ねると共に接着剤にて接着して木材ブロックを形成し、この木材ブロックを少なくとも上記の板木材の厚み方向に複数個並設して各々を接着剤にて接着結合したので、板木材として板目材を使用しても木材ブロックの表面には接着した各板木材の境界線で柾目調の木目が形成されることになり、この各木材ブロックを積層して形成される建築材を柾目調の木目に統一して全体的に落ちつい高級感を出すことができるものである。

【図面の簡単な説明】

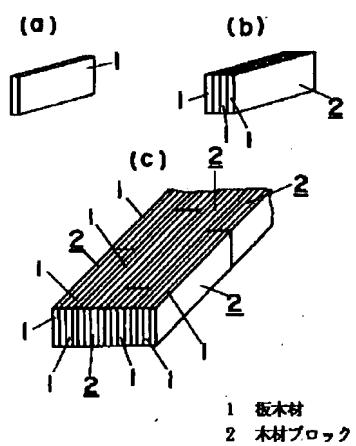
【図1】本発明の一実施例であり、(a)は板木材の斜視図、(b)は木材ブロックの斜視図、(c)は建築材の一部の斜視図である。

40 【符号の説明】

1 板木材

2 木材ブロック

【図1】



PAT-NO: **JP406091612A**

DOCUMENT-IDENTIFIER: **JP 06091612 A**

TITLE: **BUILDING MATERIAL**

PUBN-DATE: **April 5, 1994**

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAYASHI, MORIO

KAWABATA, SHIGETO

KANAI, HIDEKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**

MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD **N/A**

APPL-NO: **JP04243906**

APPL-DATE: **September 14, 1992**

INT-CL (IPC): **B27M003/00, B32B021/13 , E04F013/10**

US-CL-CURRENT: **144/344**

ABSTRACT:

PURPOSE: To give a generally quiet high quality feeling by making straight grained design even in the case of employing cross grained lumber, and uniting the whole into straight grained patterns.

CONSTITUTION: Plural sheets of thin lumber board materials 1 are superimposed in the thickness direction, and then they are glued by an adhesive so as to form a lumber block 2. The lumber block 2 is plurally juxtaposed at least in the thickness direction of the aforementioned lumber board material 1, and each of them is combined by an adhesive. Even in the case where cross grained lumber is used as lumber board material 1, the grain of the straight grained material can be represented at the boundary of each lumber board material 1, resulting in a formation of a building material with straight grained patterns.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio